



第23回 滋賀県税制審議会

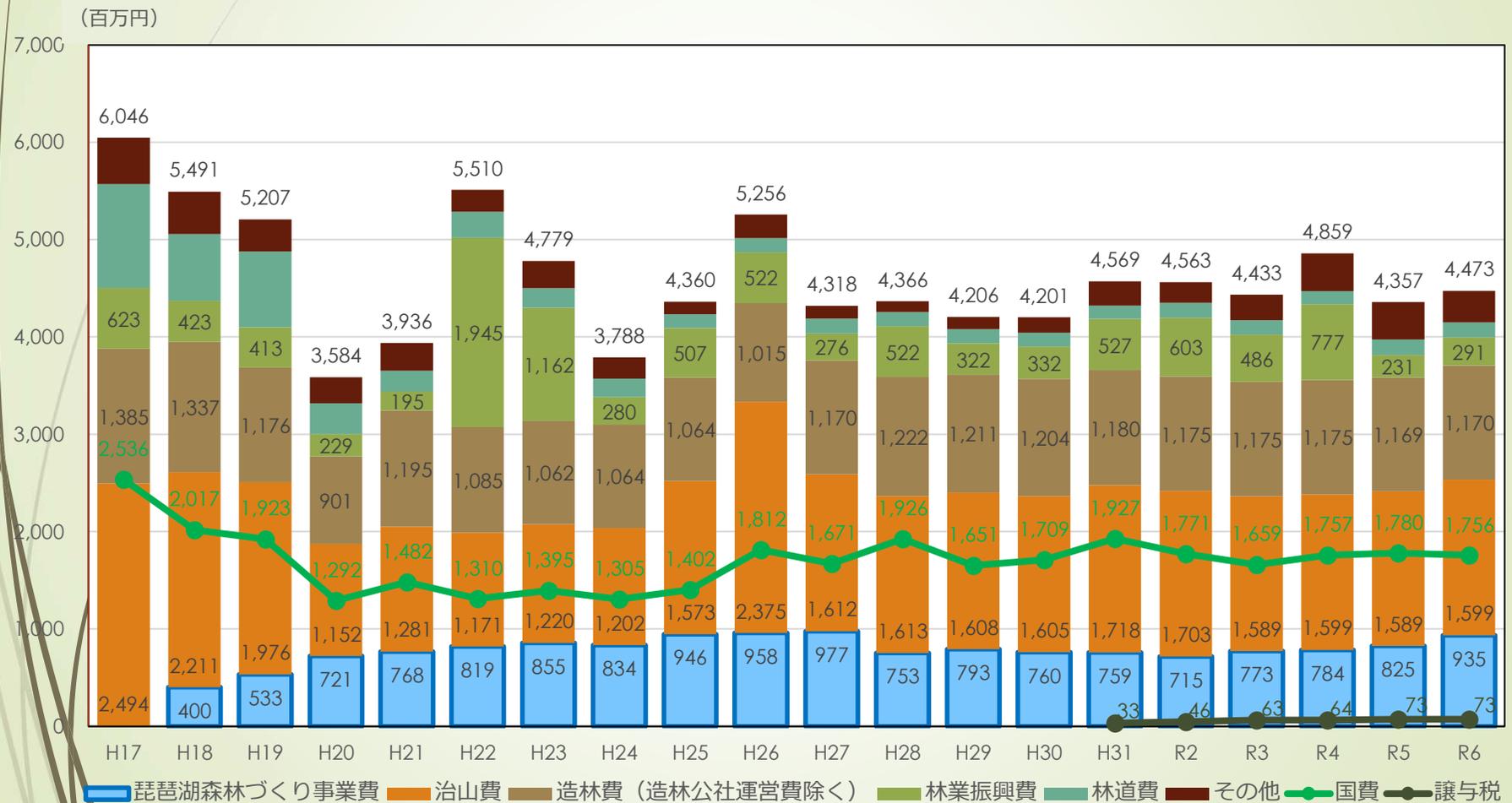
森林政策全体の財源構成の変化につ いて

委員意見③: 森林施策全体の財源構成がどのように変化・推移しているのか。

滋賀県琵琶湖環境部森林政策課

森林関連事業費の推移（H17～R6）

- 平成18年度から、琵琶湖森林づくり県民税を財源とする事業（県民税事業）が開始。
 - 環境重視と県民協働の視点に立った新たな施策に対し充当してきた。
 - 国費については、「三位一体の改革」等により平成20年度にかけて減少しているが、その後少しずつ増加し、近年は17億円前後で推移しており、国庫補助事業に対しても予算を一定確保しながら森林林業施策を進めている。
- ※ 事業費は、一般会計当初予算（職員費除く）



主に治山ダムや山腹工事等の公共工事

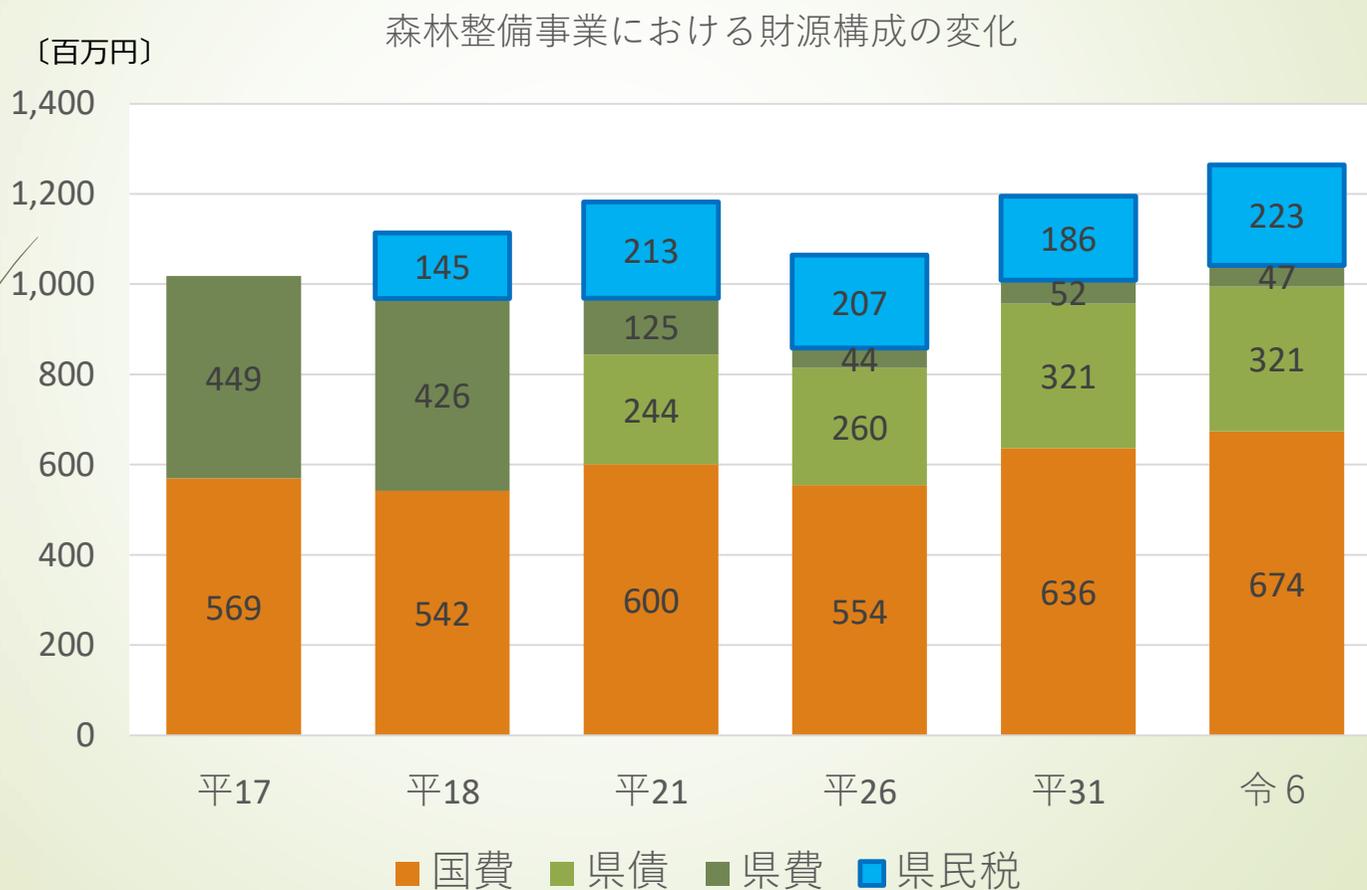
主に森林組合や森林所有者が行う森林整備への補助

林業労働力対策、木材産業振興施策等

境界明確化支援、森林計画制度事務、県営林管理等

森林整備事業費の推移（H17～R6）

- 平成17年度までは、林業振興を主体とした森林整備を実施してきたが、林業採算性の低い奥山人工林や里山の整備など新たな課題に対応できない状態。
 - 環境重視の視点に立った新たな施策として、平成18年度から県民税事業により環境林整備や里山整備を実施。
 - 国庫補助事業に対しても予算を一定確保しながら森林林業施策を進めている。
- ※ 事業費は、一般会計当初予算



※森林整備事業：補助造林事業、単独造林事業、環境林整備事業、農地漁場水源確保森林整備事業、里山リニューアル事業、災害に強い森林づくり事業